

平成24年度 教育モニターからの質問とその回答 2月分

月	住所	性	歳	質問および回答
2	中津川市	女	50	<p>不登校の子どもについて、子どもの心のケアと同時に、その家族のケアも行うことができるとよいと考える。しかし、学校だけでは、限界があり、負担も多くなると思う。学校が教育委員会と連携をとり、地域からもサポートできる体制を構築してほしい。</p> <p>不登校など不適應の状態は、子どもの将来への不安と結びついているため、本人や保護者の方々の悩みもとても大きいものがあります。そんな不登校に悩み苦しむ子どもたちや保護者の方々に個別に教育相談を行い、その気持ちに寄り添いながら、心の安定を支えることはとても大切なことです。</p> <p>学校内では、担任をはじめとした全教職員が、子どもたちに対して共感的な理解を心がけながら、日常の僅かな変化を捉え、適切な対応ができるよう、あらゆる機会を捉えて教育相談を行っています。また、すべての中学校と54校の小学校にスクールカウンセラーやスクール相談員を配置し、子どもたちや保護者の方々にカウンセリングを行っています。</p> <p>県教育委員会におきましても、総合教育センターや県内6か所にあります各教育事務所で教育相談を行っており、本年度もこれまで、直接お会いしてご相談をさせていただく面接相談を1121回、お電話でお話をお伺いする電話相談を2574回行いました。また、市町村教育委員会にも、教育相談窓口が設置されており、学校外でも、不登校に悩み苦しむ子どもたちや保護者の方々に寄り添い支援する教育相談体制を整えています。</p> <p>より一層、教育相談に関わる研修内容を充実し、本人や保護者の方々を支える学校内外の体制を充実させることで、不登校の子どもたちの学校復帰や社会的自立を支援していきます。</p> <p>今後も、岐阜県の子どもたちのよりよい教育のためご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>【学校支援課】</p>